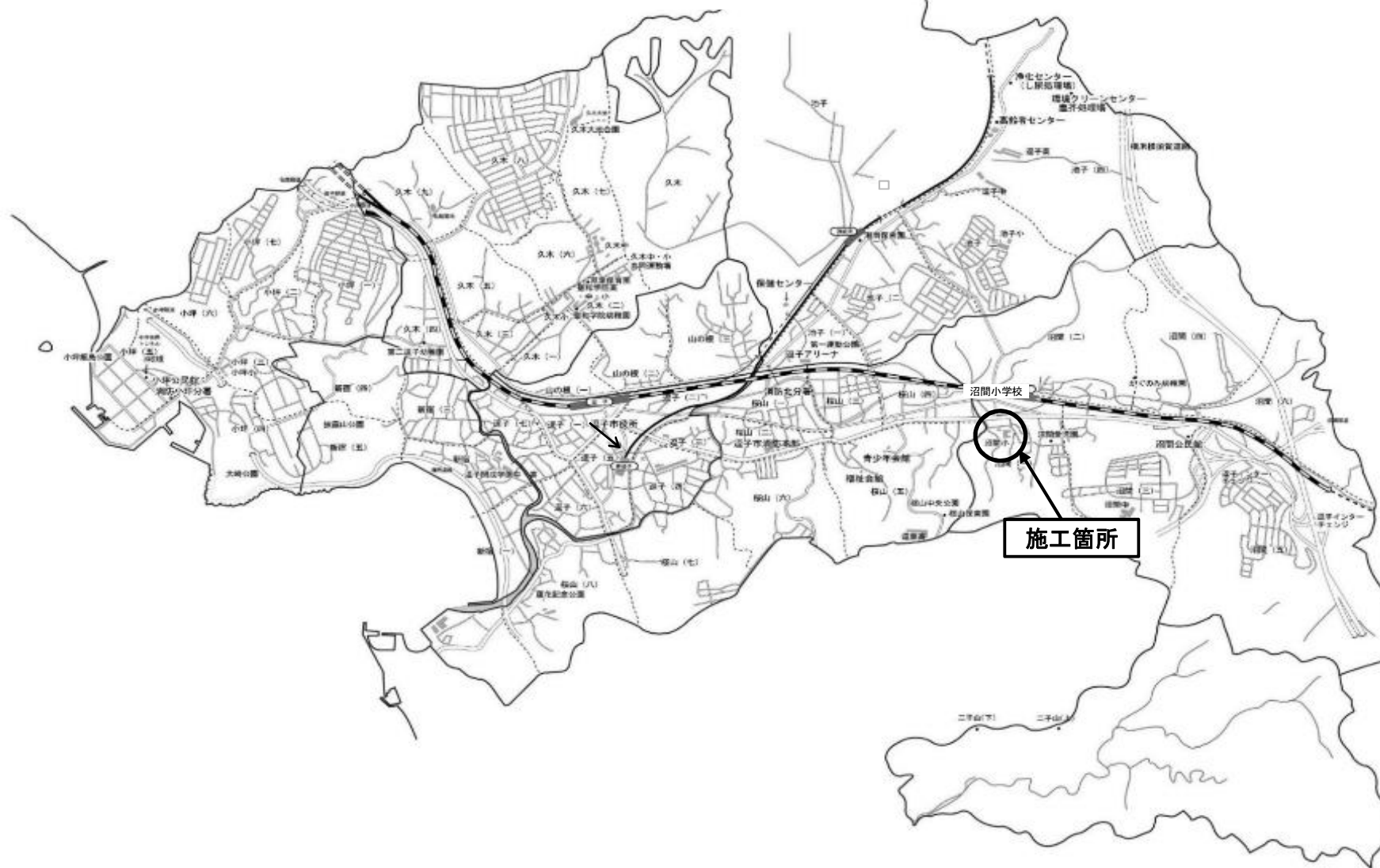
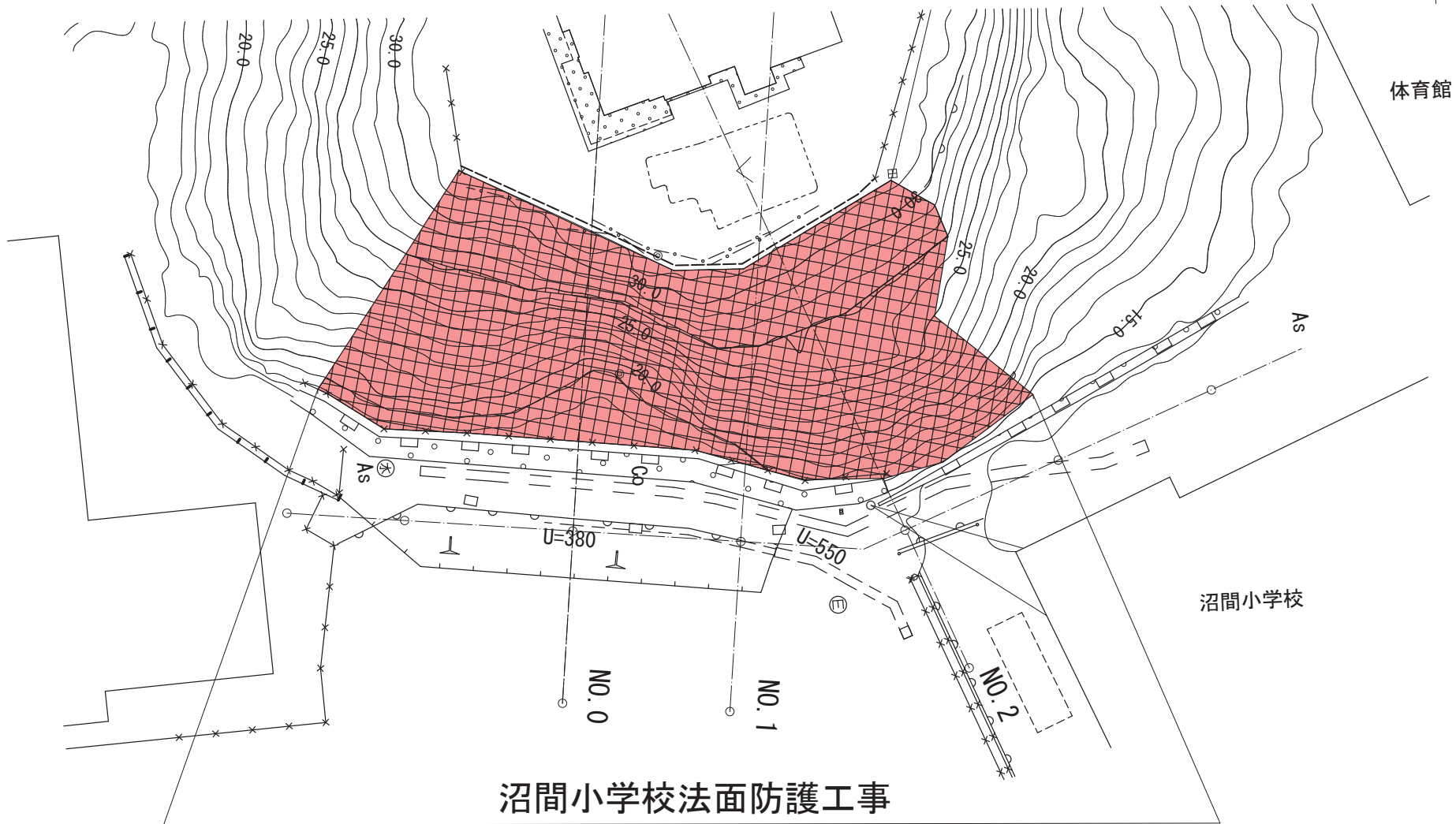


逗子市全体位置図



施工箇所

平面図 S=1:250 (A3)



沼間小学校法面防護工事

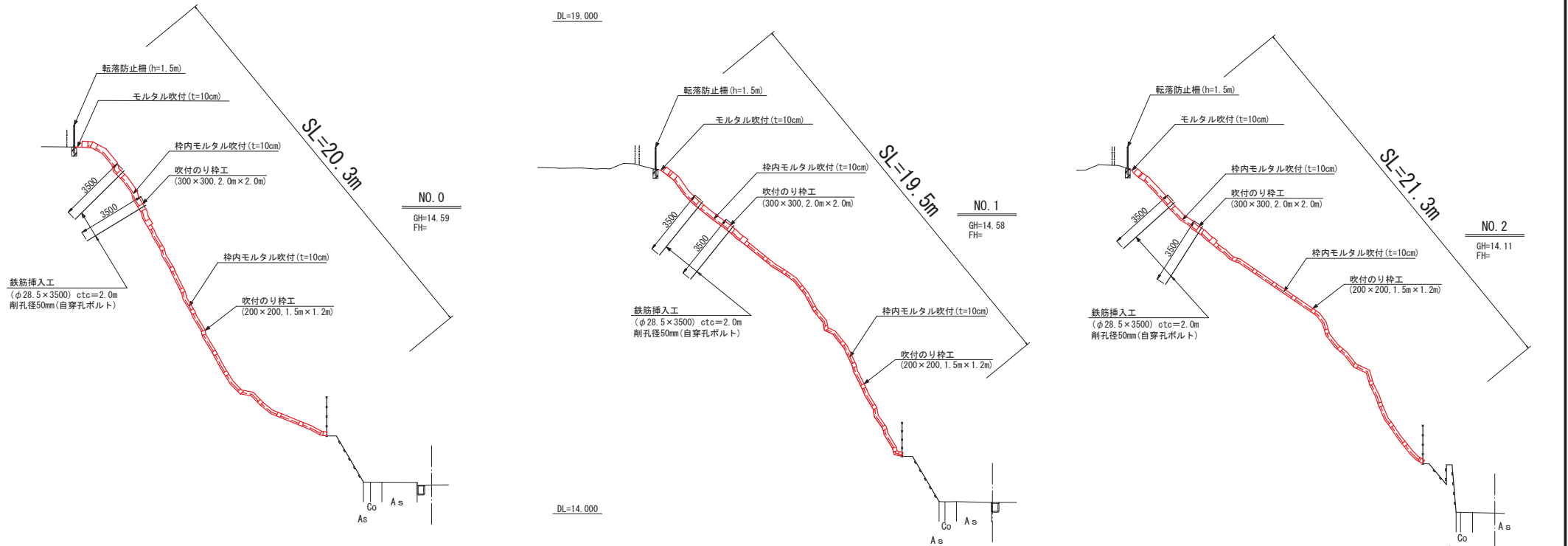
工事延長 L=47.5m

法枠工 L=47.5m A=745m² SL=19.5~21.3m

鉄筋挿入工 N=44本

工事名	沼間小学校法面防護工事		
施工箇所	蓮子市沼間1丁目地内		
図面名	平面図		
縮尺	S=1:250 (A3)	図面番号	1 / 7
蓮子市 教育委員会 教育総務課			

横断図 S=1:250 (A3)

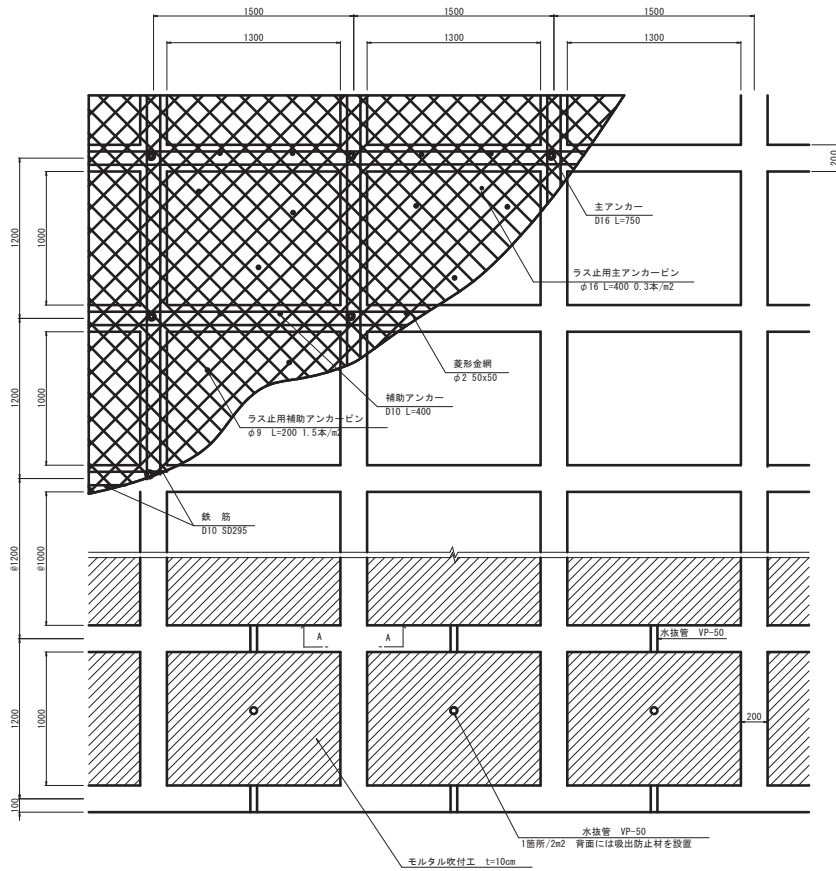


工事名	沼間小学校法面防護工事		
施工箇所	遼子市沼間1丁目地内		
図面名	横断面図		
縮尺	S=1:250 (A3)	図面番号	2 / 7
遼子市 教育委員会 教育総務課			

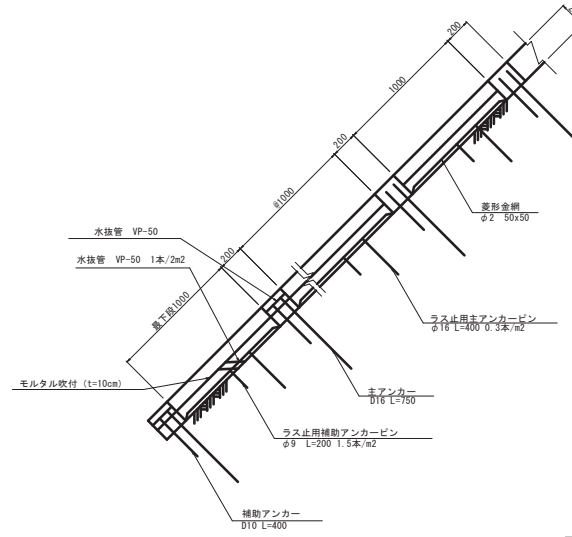
吹付枠工 (F200) 構造図 S=図示

(枠200*200 スパン1500*1200)

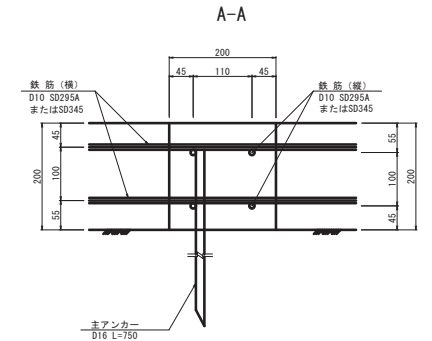
展開図 S=1:20



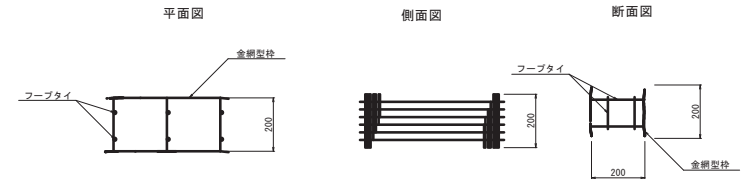
標準断面図 S=1:20



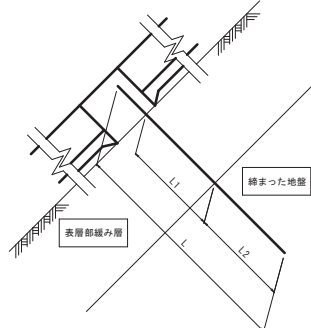
詳細断面図 S=1:5



詳細図 S=1:10

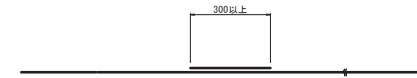


主アンカー長の仕様



※表面部に織み層 (L1) がある場合は、主アンカー挿入長の半分以上を良く締まった地盤 (L2) に挿入されるよう主アンカー長Lを調整する。(L=750以上とする)

鉄筋の重ね継手長



D10 SD295を使用した場合は重ね継手長L=300mm以上
(D10 SD345を使用した場合は重ね継手長L=350mm以上)

材料表

※この材料表は標準的な数量である。 1000m2当たり

名称	規格	数量	算式
特殊法枠型枠	□-200	1438m	
主アンカー	D16 L=750	598本	
補助アンカー	D10 L=400	1160本	
異形鉄筋	D10	3489kg	
ラス網	2.0mm 50*50mm	1000m2	
ラス止用主アンカー	φ16 L=400	300本	
ラス止用補助アンカー	φ9 L=200	1500本	
枠内モルタル吹付	t=10cm	712.2m2	
吹き止材	t=10mm	20m2	0.2*0.2*1000+2

ラス張工の仕様

菱形金網 φ2*50*50
ラス止用主アンカーピン φ16*400L 0.3本/m2
ラス止用補助アンカー φ9*200L 1.5本/m2

吹付法枠工の仕様

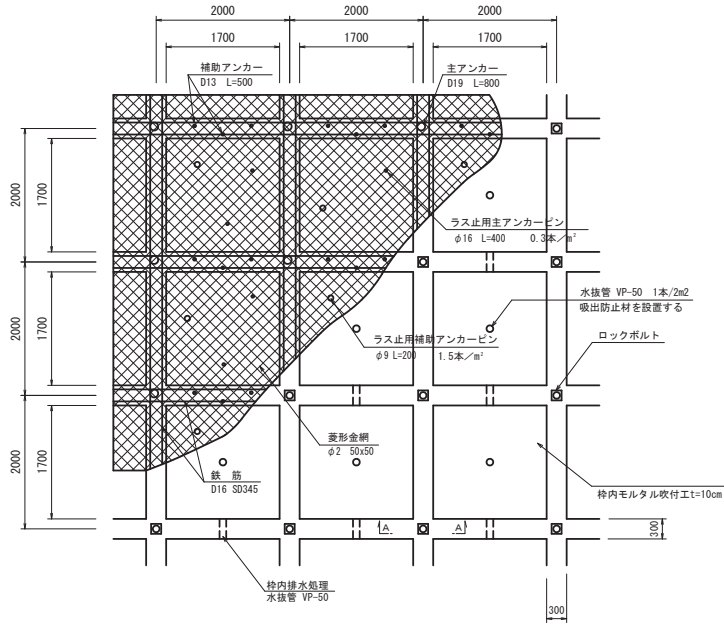
モルタル吹付の枠 (フレーム) 設計基準強度 σ_{ck}=18N/mm²
モルタル吹付の枠内モルタル設計基準強度 σ_{ck}=15N/mm²
枠は横1.5m*縦1.2mピッチ
枠は4本の鉄筋を配筋D10*4本 SD295AまたはSD345
主アンカーはD16*750Lを据の交点に設置
補助アンカーは横梁1.5mに2本 D10*400L
枠内はモルタル10cmを吹き付ける。

工事名	沼間小学校法面防護工事		
施工箇所	沼間市沼間1丁目地内		
図面名	吹付枠工 (F200) 構造図		
縮尺	S=図示	図面番号	3 / 7
沼間市 教育委員会 教育総務課			

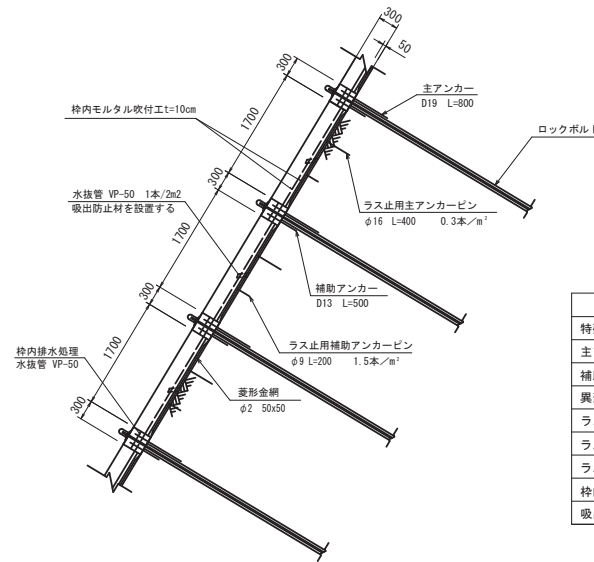
吹付枠工 (F300) 構造図 S=図示

(枠300*300 スパン2000*2000)

展開図 S=1:40(1:80)



標準断面図 S=1:40(1:80)



材料表

※ この材料表は標準的な数量である。

1000m2 当り

名称	規格	数量	算式
特殊法枠型枠	F-300	975 m	
主アンカー	D19 L=800	280 本	枠の交点に1本
補助アンカー	D13 L=500	808 本	横枠のみ3本
異形鉄筋	D16	6607 kg	
ラス網	2.0mm 50×50mm	1000 m2	
ラス止用主アンカー	φ16 L=400	300 本	0.3×1000
ラス止用補助アンカー	φ9 L=200	1500 本	1.5×1000
枠内モルタル吹付	t=10cm	707.5 m2	
吸出防止材	t=10mm	20 m2	枠内モルタル吹付、水抜き管設置箇所

ラス張工の仕様

菱形金網 φ2*50*50

ラス止用主アンカーピン φ16*400L 0.3本/m2

ラス止用補助アンカーピン φ9*200L 1.5本/m2

吹付法枠工の仕様

モルタル吹付の枠 (フレーム) 設計基準強度 $\sigma_{ck}=18\text{kN/mm}^2$ (C:S=1:4 水セメント比60%以下)

モルタル吹付の枠内モルタル設計基準強度 $\sigma_{ck}=15\text{kN/mm}^2$

枠は横2.0m*縦2.0mピッチ

枠は4本の鉄筋を配筋D16*4本 SD345A

主アンカーはD19*800Lを梁の交点に設置

補助アンカーは横梁2.0mに2本 D13*500L

枠内はモルタル10cmを吹付ける。

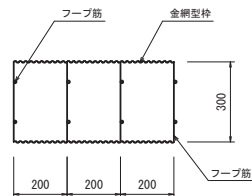
水抜き管は2m2に1本設置し、吸出防止材を設置する。

枠内排水処理はパイプ方式を標準とする。

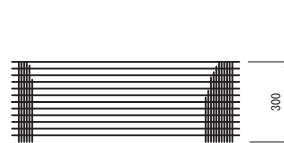
※ () 内幅尺はA3出力時の幅尺

詳細図 S=1:10(1:20)

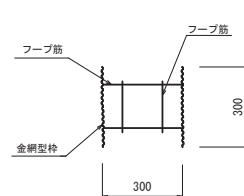
平面図



側面図



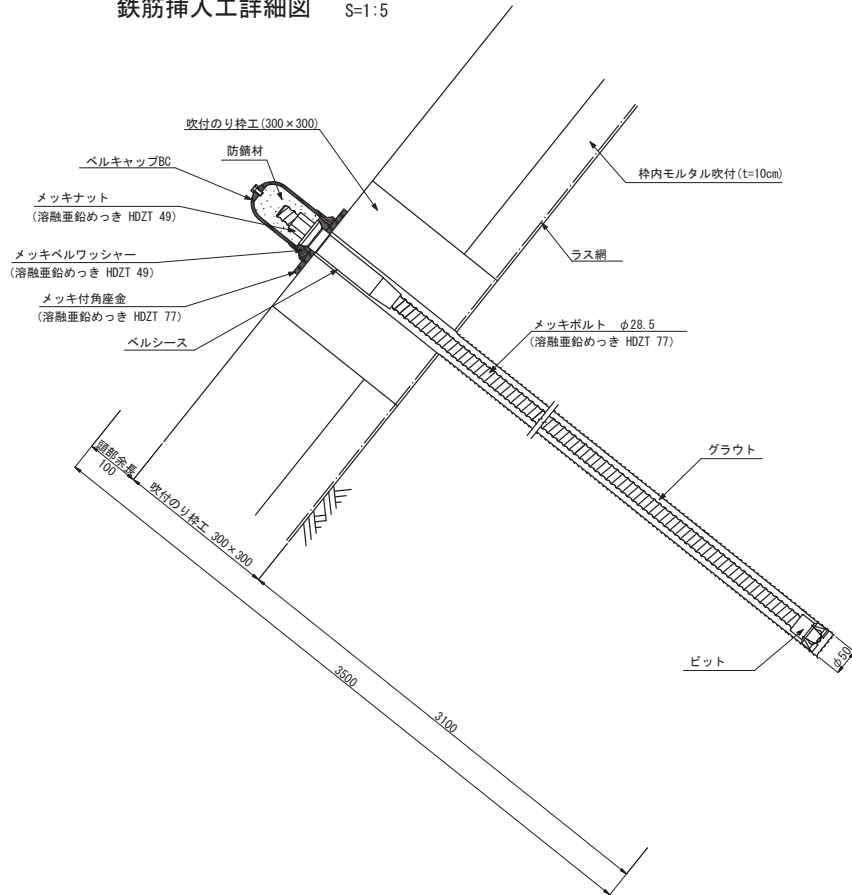
断面図



工事名	沼間小学校法面防護工事		
施工箇所	蓮子市沼間1丁目地内		
図面名	吹付枠工 (F300) 構造図		
縮尺	S=図示	図面番号	4 / 7
蓮子市 教育委員会 教育総務課			

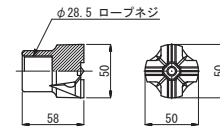
鉄筋挿入工詳細図 (参考) S=図示

鉄筋挿入工詳細図 S=1:5

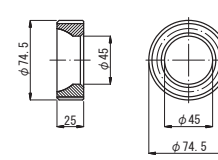


鉄筋挿入工部品図 S=1:2.5

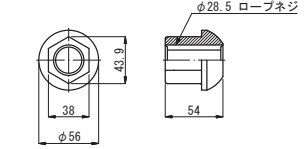
チップ付ビット φ50



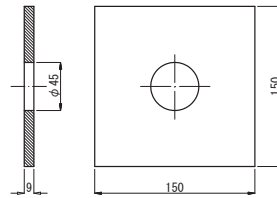
メッキベルワッシャー (溶融亜鉛めっき HDZT 49)



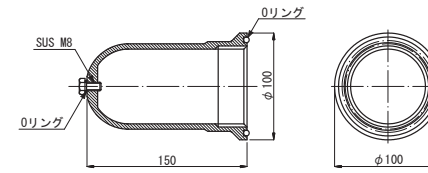
メッキナット (溶融亜鉛めっき HDZT 49)



メッキ付角座金 (溶融亜鉛めっき HDZT 77)

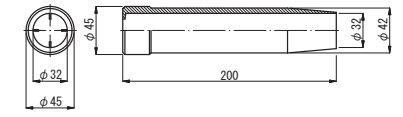


ベルキャップBC



※ベルコート360g入り

ベルシース

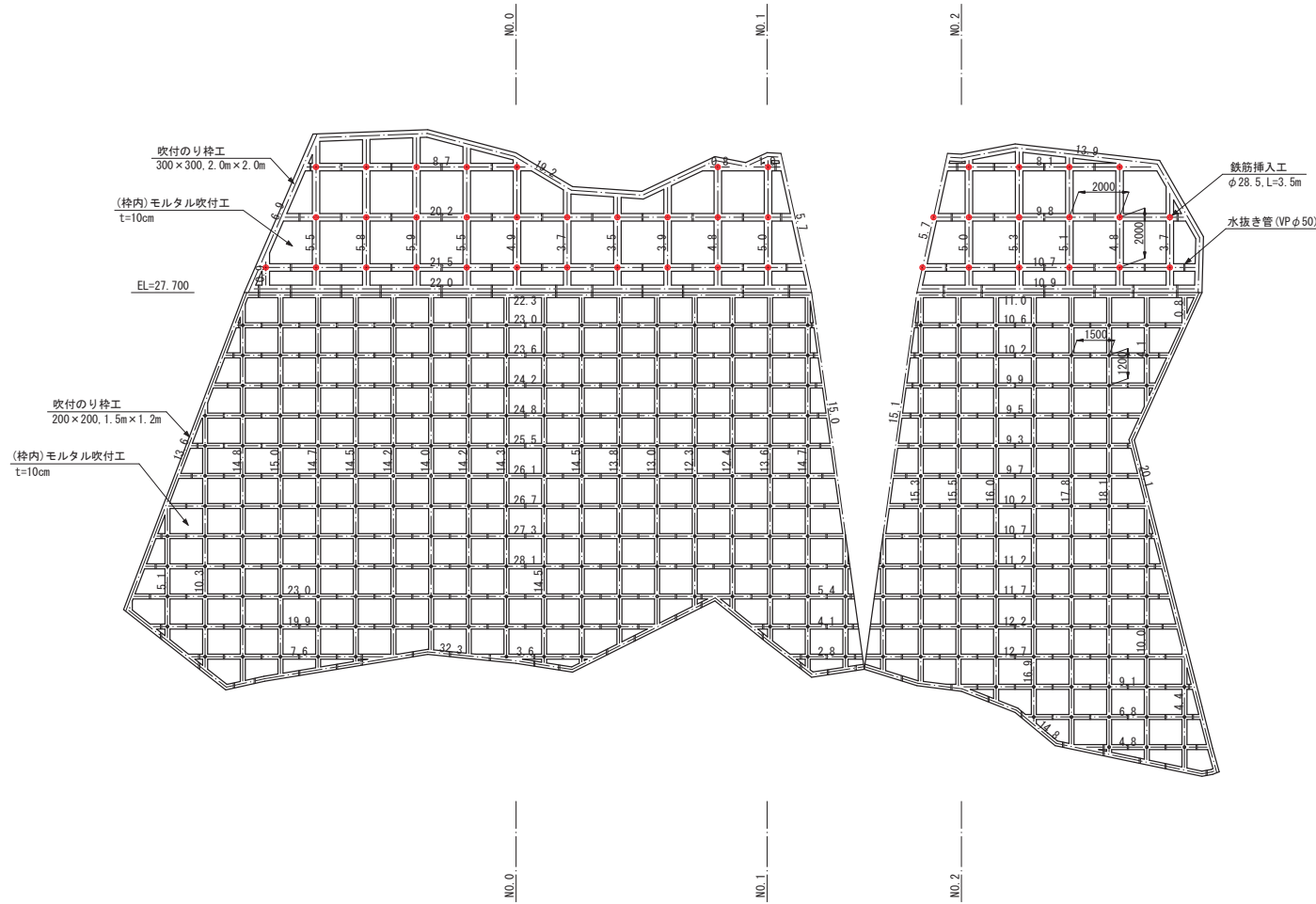


材料表

種別	仕様	備考
フリーフレーム	FM300 (2,000×2,000)	
メッキボルト	φ28.5	溶融亜鉛めっき HDZT 77
ビット	φ50	
メッキナット	φ28.5	溶融亜鉛めっき HDZT 49
メッキ付角座金	150×150×9 (φ45)	溶融亜鉛めっき HDZT 77
メッキベルワッシャー	φ74.5×25	溶融亜鉛めっき HDZT 49
ベルキャップBC	φ100×150	ベルコート360g入り
ベルシース	φ45×200	

工事名	沼間小学校法面防護工事		
施工箇所	蓮子市沼間1丁目地内		
図面名	鉄筋挿入工詳細図 (参考)		
縮尺	S=図示	図面番号	5 / 7
蓮子市 教育委員会 教育総務課			

展開図 S=1:200 (A3)



● = 鉄筋挿入工 (φ28.5, L=3.5m)

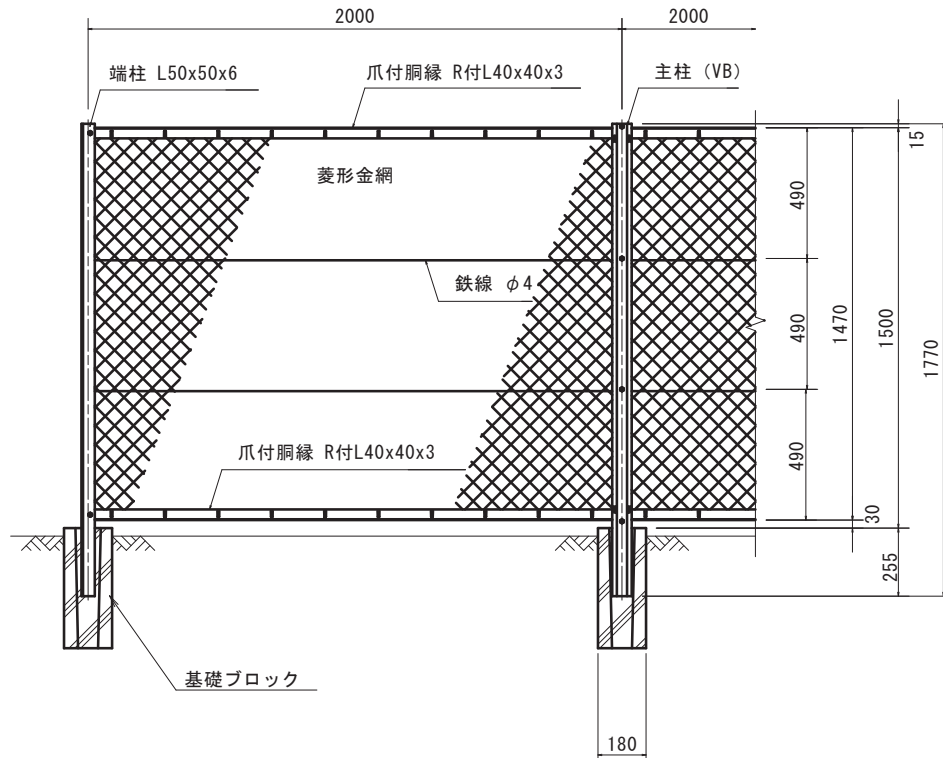
項目	規格	単位	数量	摘要
鉄筋挿入工	φ28.5, L=3.5m	本	44	

※鉄筋挿入工の打設箇所や本数等は現地状況を確認しながら、必要に応じて適宜、調整すること。

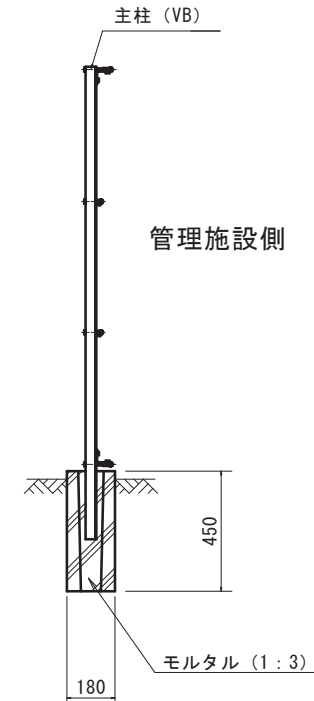
工事名	沼間小学校法面防護工事		
施工箇所	逗子市沼間1丁目地内		
図面名	展開図		
縮尺	S=1:200 (A3)	図面番号	6 / 7
逗子市 教育委員会 教育総務課			

付帯工構造図 S=図示

正面図



側面図



材料表

10.0m当り

名称	形状寸法	数量	単位	備考
立入防止柵	H=1500	10.000	m	亜鉛メッキ仕上げ
基礎ブロック	□180*180*450	5	個	n=10.000/2.000
モルタル	1:3	0.02	m ³	$V=(0.075*0.075+0.095*0.095)*1/2*0.45*10.0/2.0$

※立入防止柵の設置位置については、監督員と協議の上決定すること。

工事名	沼間小学校法面防護工事		
施工箇所	蓮子市沼間1丁目地内		
図面名	付帯構造図		
縮尺	S=図示	図面番号	7 / 7
蓮子市 教育委員会 教育総務課			